



# 楠の葉

佐賀大学同窓会報 第29号

発行日 2018年7月1日

発行 佐賀大学同窓会

佐賀市本庄町1 佐賀大学 菱の美会館内  
TEL 0952-23-1253  
FAX 0952-25-5700  
E-mail dousoukai@sadai.jp  
ホームページ http://sadai.jp/alumni/

編集者 徳安和博



## 会長就任の挨拶

佐賀大学同窓会会長 川 副 操 (農学・S44年卒)

向暑の候、佐賀大学同窓会会員の皆様にはますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

この度、金丸会長の任期満了に伴う役員改選により、佐賀大学同窓会会長の大役を仰せつかりました。

浅学微力、とてもその任にありませんと固辞致しましたが、「役員・事務局員でサポートするから」とのお約束を頂きましたので、お引き受けした次第です。何分の重責に恐縮していますが、精一杯努めたいと思いますので、よろしくお願い致します。

まずは今年で明治維新150周年を迎え、現在佐賀県では、各地域の特色を生かした「肥前さが幕末維新博覧会」としてのイベントが開催されています(来年1月まで)。150年も前に九州・佐賀の地から「世界」を見据え、新しい国づくりを志した偉人達がいたのです。そんな「歴史と風土の郷」の総合大学である、我が佐賀大学の周辺景観も大きく変わっています。この機会に是非「大学美術館」の観覧も含めて母校を訪れてください。

ご承知の通り「佐賀大学同窓会」は、これまでの佐賀・佐賀医科両大学それぞれの同窓会組織が統合して平成16年に、5学部の同窓会(有朋、楠葉、農学、菱実、旧医科・医学)を構成員として再スタートしています。

実は、九州・沖縄をはじめ、遠くは関東・東海・関西などで活躍されている同窓の方の間では、以前から発足の経緯には若干の相違はあれ、それぞれの地域で学生時代のサークル・ゼミ仲

間や先輩・後輩など、世代・学部を超えた単なる飲み会的な親睦の場が組織されていました。青年時代を過ごした佐賀の思い出話を語る等の親交が芽生える中で、母校への郷愁の気持ちを語り合い、同窓生相互の親睦・融和が図られていたようです。

お陰様で今日では、卒業生約59,000名の集団となり、こうした地域の集まりも県外15地域(支部)、県内11地区となりました。これからの「佐賀大学同窓会」は、それぞれ発足の歴史が異なる各学部同窓会の独自性を尊重しつつ、これらの地域組織の母体となるべき重要な責務を担っていると考えます。

今大学では、少子化が進むとともに厳しい財政環境の中で、特色・強みを明確にした教育研究を目指した「地域ニーズに応え、地域に貢献する人材の育成を目指すCOC(center of community)大学」を志向されています。同窓会としては大学が目指す目標にいささかでも寄与できればと考えており、同窓会支部・本部の人的ネットワークを十分に活用したいと思しますので、各地域会員の皆様方との連携をさらに密にしていきたいと思えます。

『歴史に誇りを持ち、文化・芸術的感性を持ち且つ多様性豊かなグローバルな視点を持つ知(地)の拠点』となる……そんな大学づくりを支援しましょう。

最後に、皆様方のご指導・ご協力をお願いしまして就任の挨拶と致します。

# 支部だより

## 鹿児島県支部総会・懇親会

平成30年1月27日午後6時から、鹿児島市内のホテル「レクストン鹿児島」において、鹿児島県支部の総会及び懇親会が開催されました。本部から宮尾正隆佐賀大学同窓会副会長（有朋会会長）、西川末実楠葉同窓会副会長、島公二武理工学部同窓会副会長、平尾泰博理工学部理事並びに小池良美農学部同窓会副会長のご参加をいただき、県内各地から駆けつけた支部会員12名（うち女性1名）の出席のもと、再会を喜び語り、楽しい集いとなりました。

総会は、まず会計担当の今村淳一氏より会計報告がなされ、支部長の挨拶に引き続いて、本部を代表して宮尾同窓会副会長から支部会開催の祝辞と大学の現況ならびに同窓会全体の活動状況について報告がありました。

懇親会は支部会員最年長の竹下威氏（文理・S29年卒）の音頭による乾杯の後、鹿児島の食を堪能しつつ、出席者それぞれが学生時代の思い出や、人生

の喜怒哀楽を含めた自己紹介と近況の報告を行い、一回りしたところで、竹下氏の音頭で「巻頭言」に引き続き「南に遠く」「学生歌」、さらに旧制第七高等学校造士館（現・鹿児島大学）の「巻頭言」「北辰斜」を高らかに熱唱。さらに酒盃を交わしながら歓談し、少人数を忘れるかのような賑やかで、有意義な懇談会となり、最後に上大迫浩氏（経済・H9年卒）の一本締めでお開きになりました。さらに恒例により二次会へと足が進みました。

支部長 上田 耕平（文理・S39年卒）



## 平成30年熊本支部総会の開催

平成30年5月12日、熊本市の「メルパルクホテルくまもと」において熊本支部の総会を開催しました。

参加者は会員51名と佐賀大学及び同窓会本部から6名のご参加を頂きました。

総会に先立ち、奈須錦一氏（理工・S58年卒）と

丸塚慎一郎氏（教育・S63年卒）から、「産業用ロボットに関して」と「熊本県における社会教育について」という興味深い話題を、専門的立場から分かりやすく話してもらいました。

総会では芦村会長（教育・S57年卒）が、「本支部の活動を通じて、学部や世代を超えた同窓生の交流が図られるよう努めていきたい」と挨拶しました。

同窓会本部の川副会長は、「熊本支部は毎年多くの会員が集まり、会員による話題提供等色々な工夫がなされている。今後とも益々の発展を期待します。」とお祝いの言葉を述べられました。

懇親会は、佐大同窓会本部の江口副会長の乾杯で始まり、各テーブルごとに参加者全員が約1分間スピーチを行い、大いに盛り上がりました。

来年も多くの参加者が集まり、学部の縦の糸と同



窓会の横の糸が結ばれて、さらに発展していくことを祈念しつつ万歳三唱を行いました。

会員の皆様を始め、大学や同窓会本部の関係者の

皆様方に、心から感謝を申し上げます。

事務局長 大串 和久 (医学・S61年卒)

## 佐賀大学教職員支部会総会

平成30年3月28日(水)午後6時から、佐賀大学菱の実会館において、佐賀大学教職員支部総会・定年退職者歓送会・懇親会が開催されました。

総会においては、まず、穂屋下 茂支部長からご挨拶があり、ご自身が定年退職されている関係から、新支部長として佐藤武 (保健管理センター) が推薦され、全員一致で決定いたしました。その後、各学部の幹事の選出があり、無事に総会を終えました。退職される教員として、白武義治教授が参加され、花束贈呈 (医学部の古島智恵さんより) があり、白武先生から、ご講話をいただきました。その後、懇親会が始まり、新支部長あいさつから始まり、佐賀大学同窓会長 金丸安隆様より来賓のあいさつを賜りました。次に、農学部同窓会長の川副 操様から乾杯がなされました。出し物として、YOSAKOI「佐賀大学嵐舞」よりすばらしい舞の2作品が披露されました。

みなさん、感動されたことと思います。

この懇親会に佐賀大学理事 (教育担当副学長) 兒玉浩明先生も参加され、学生との懇親もより深まりました。実は、兒玉理事の娘さんも嵐舞のメンバーということがわかり、より話題が盛んになったようです。また、医学部から、市場先生、古島さん、松藤さんも参加され、両キャンパスの現状などを語り合う絶好の機会となりました。これからも佐賀大学教職員支部会が両キャンパスの交流を深める機会になればと期待しています。

新支部長 佐藤 武 (医学・S59年卒)



## 佐賀大学の風景



旧佐賀大学正門付近の風景

# 佐賀県内地区会

## 佐賀大学同窓会唐津地区会第2回総会・懇親会を終えて

平成30年2月10日(土)午後2時半より、唐津市民会館4階会議室において総会を開いた。

同窓会本部から宮尾正隆副会長はじめ8名の来賓の臨席を賜り、さらには佐賀大学保健管理センター長佐藤武教授には総会後の講演をお願いした。

本部の応援をいただき、一昨年の初回からはるかに多い参会者を得て開催した。平成16年4月国立大学法人に移行して14年を経た現在、2月7日の日経新聞に国立大学の今、環境は様変わりし、経費削減や資金集めに学長は「トップセールス」を展開、奔走する姿が記事として掲載された。そんな環境下におかれた佐賀大学の現状を少しでも理解できるよう努め、同窓会も微力ながら、協力の姿勢を打ち出していこうと会長挨拶では述べ、議事に入った。約1時間の慎重な審議の結果終了した。

その後講演会に進み、佐藤武センター長は「佐賀大学の過去現在未来—保健管理センターでの相談経験から」と題して、プロジェクターにのせて熱く、熱く語った。「初めて大学の内情を知り、とてもよかった。親近感がさらに深まった」と、とても好評

であった。

そんな感想をいただきながら、すべての前段階の総会および講演会を無事に終え、散会したのは午後4時少し前であった。懇親会はビュッフェレストラン「パレット」に会場を変え、金丸安隆同窓会会長の言葉をいただき、乾杯の発声とともに明るい会話とはじける笑顔の花咲く懇親会へと移った。次回からのさらなる取り組みを心に期し、多大なる協力をいただいた有朋会の方に謝意を表しつつ、会を閉じた。

医学部同窓生に40通の案内を送り、次回の参加を待つこととした。

会長 松本 範順 (文理・S41年卒)



## 三養基地区総会・懇親会

平成30年3月4日(日)、「吉野ヶ里温泉」において「平成29年度佐賀大学同窓会三養基地区会」の総会並びに懇親会を開催しました。

本部より川副同窓会副会長をはじめ7名のご来賓、当地区会員15名の参加がありました。

総会においては、八谷地区会会長のあいさつに続き、川副同窓会副会長より挨拶並びに佐賀大学及び同窓会の現状をお話ししていただきました。

懇親会は、出席者全員の自己紹介にはじまり、各々の近況の報告と学生時代の思い出を語りました。学部、学科、卒業年度が違うため初対面の方が大半でしたが、同じ学び舎で生活しただけで、こんなに話題があるのかと思うほどに話がつきませんでした。懇親会の中盤では鳥理工学部同窓会副会長による巻頭言の披露、松田三養基地区会副会長のハーモニカ伴奏による学生歌の歌唱を行い大いに盛り上がりと共に、母校に思いをはせました。

今回は、20代から80代までの幅広い年代の参加があり、まさに学部、世代を超えた交流の場となりました。来年度は、さらに多くの会員に参加してもらえよう開催の時期、形態などを協議・検討してまいります。

事務局長 藤野 由花 (理工・H13年卒)



## 佐賀大学と 佐賀大学同窓会との

# 意見交換会



平成30年5月17日(木)18時から菱の実会館多目的室において、大学と同窓会との恒例の意見交換会が開催された。大学側からは学長、理事・副学長2名、理事・事務局長1名、理事1名、監事1名、全学教育機構長副学長1名、学部長6名(代理を含む)の計13名の参加があり、同窓会側からは会長、副会長4名、理事長、副理事長2名、理事2名の計11名の参加があった。

川副同窓会長から主催者挨拶として同窓会と大学が車の両輪となって進みたいという旨の挨拶の後、佐賀大学学長の挨拶があった。資料に基づき、面倒見の良い大学としての就職支援、入試倍率と大学改革、国立大学改革、財源の状況、学内会議、教教分離等について説明があった。地域に若人を残すことがミッションであり支援してくこと、また、2018年から進学人口が実数として減り出すことに伴う倍率低下等の問題と、志願者増のために改革を行う必要があること、研究組織や資源配分を恒常的に行うこと、大学のガバナンス改革を推進すること、大学の資金の減少に対応するために外部資金を獲得する必要があることなどについて説明があった。

次に同窓会側からの説明があった。有朋会からは、戦中の記録がないので、同窓会に広く呼び掛けて収集しようとしていること、楠葉同窓会からは在校生と同窓会との交流について協議を進めていることと、40年の歴史資料を集めて整理しているという説明があった。医学部同窓会からは同窓会に本学卒ではないが在職した教授にも入っていただいていることや、40周年記念事業への支援事業を盛り上げたいこと、在学生にも同窓会総会に参加してほしいという説明があった。菱実会からは名簿管理の充実を図っていること、菱実会賞を与えて学生を表彰していること、農学部同窓会からは業界セミナーを行い、就職したOB・OGと在学生との交流会を行っていること、同窓会への若手の参加を求めていることなどが説明された。

意見交換では、同窓会ができる就職支援はOB・OGの経験談が中心だが、他にできることはないかと提案があり、大学側からはインターンシップの説明になるべく学生と近い年齢の人を呼んでほしいという要望があった。同窓会からは会報をメーリングリストで宣伝して欲しいと依頼があったが、大学側からは学生があまりメールを見ないのでSNSを使ってはどうかという提案があった。大学の広報を通して相談することになった。

文責 徳安 和博(教育・H2年卒)



## 平成30年度春期定例役員会

### 新会長と事業計画、予算を決定

平成30年度春期定例役員会を4月19日(木)、佐賀大学「菱の実会館」で開催し、平成29年度事業報告・決算報告、平成30年度事業計画案・予算案及び新役員を承認した。

会長職4年の金丸 安隆氏が退任し、川副 操氏(前農学部同窓会会長)が新会長として全会一致で選任された。

#### I. 平成29年度事業報告

##### 1. 会報発行事業

佐賀大学同窓会報「楠の葉」27、28号発行。

##### 2. 事業活動

##### 1) 支部会、佐賀県内地区会活動

9支部会、7地区会の開催

##### 2) 佐賀大学との意見交換会

大学側から12名、同窓会側から11名参加

##### 3) 佐賀大学校友会への支援校友会費として

2,642,500円支援

##### 4) キャリアデザイン講座

キャリアデザインの4講座にOB講師5名派遣

##### 5) 佐賀大学同窓会会長賞

2団体及び2人(個人)に授与

##### 6) 第25回佐賀県青春寮歌祭

平成29年11月18日(土)、29校の参加 佐賀大学からの参加数25人、佐賀大学混声合唱団応援参加

○巻頭言・学生歌等の練習 振り付けとエールの練習

##### 7) 開学祭支援事業

本庄・鍋島キャンパス大学祭支援

##### 8) 懇話会(学習会)

役員会の前の時間に7回開催

##### 9) 佐大同窓会Webページ

佐賀大学同窓会Webサイトの運用

#### II. 平成30年度事業計画

平成29年度事業の継続と充実を計る。

#### III. 平成29年度決算及び30年度予算(概要)

【単位：千円】

科目	29年度決算	30年度予算
収入の部		
前年度繰越金	1,304	1,650
会館維持積立一部繰入	2,266	2,118
人件費清算分	1,849	1,450
収納金	12,463	11,649
雑収入	102	100
合計	17,984	16,967
支出の部		
運営費	8,567	8,750
業務・活動費	7,684	7,677
予備費	83	540
合計	16,334	16,967



## 平成30年度 佐賀大学同窓会役員名簿



役職	担当	氏名	卒業年学科	役職	担当	氏名	卒業年学科	役職	担当	氏名	卒業年学科
会長		川副 操	農学・44	理事	会報	松尾 和俊	経済・62	理事	支部強化	眞鍋 靖史	医学・H5
副会長		宮尾 正隆	教育・36	〃	〃	江村 正	医学・62	〃	〃	山口 智啓	理工・52
〃		江口 洋一	経済・49	〃	〃	田中 高行	理工・61	〃	〃	吉賀 豊司	農学・H2
〃		西村 知久	医学・H4	〃	〃	郡山 益実	農学・H7	監事		大庭 敏伸	教育・36
〃		穂屋下 茂	理工・49	〃	情報管理	中村 隆敏	教育・61	〃		福母 祐二	経済・H2
〃		小池 良美	農学・56	〃	〃	八谷 浩司	経済・61	〃		吉岡めぐみ	医学・H12
理事長	庶務	竹下 敬教	教育・51	〃	〃	古島 智恵	医学・H11	〃		椿 忠彦	理工・53
副理事長	会報	水田 和彦	農学・51	〃	〃	高崎 光治	理工・60	〃		田中 俊之	農学・59
〃	情報管理	中野哲太郎	経済・48	〃	〃	田中 宗浩	農学・H4	理事	事務局長	平野 禎亮	教育・50
〃	学生支援	佐藤 武	医学・59	〃	学生支援	岡 陽子	教育・54	顧問		久間 善郎	文理・37
〃	支部強化	島 公二武	理工・50	〃	〃	木塚 徳男	経済・60	〃		金丸 安隆	農学・43
理事	庶務	長 安六	文理・44	〃	〃	市場 正良	医学・61				
〃	〃	矢ヶ部伸也	医学・H9	〃	〃	池上 康之	理工・61				
〃	〃	津留 保生	理工・H4	〃	〃	石橋 泰之	農学・60				
〃	〃	瀬尾 裕一	農学・63	〃	支部強化	堤 公一	教育・H6				
〃	会報	徳安 和博	教育・H2	〃	〃	西川 末実	経済・53				

\* 庶務→庶務部 会報→会報発行部 情報管理→情報管理部 学生支援→学生支援部 支部強化→支部強化部

平成30年5月現在

## 同窓会NOW

有朋会（教育学部同窓会）

## 明治維新150周年と芸術地域デザイン学部

芸術地域デザイン

西村 幸一郎（文化教育・H23年卒）

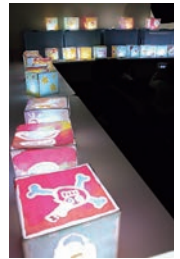
私は平成19年に佐賀大学文化教育学部美術・工芸課程に入学し、卒業後同大学院に進学・修了しました。その後、出身県である長崎県高等学校の非常勤講師を経て、昨年度平成29年4月より佐賀大学芸術地域デザイン学部・彫塑教室の特任助教として勤務しています。昨年度は、今年の3月17日(土)から開催されている「肥前さが幕末維新博覧会」に向けて、偉人モニュメント制作補助と維新博プレイベントワークショップの企画に携わりました。

明治維新时期に活躍した佐賀の偉人25人のモニュメントは、今年の3月3日(土)に除幕され、佐賀駅の南側にある「駅前まちかど広場」から「佐賀バルーンミュージアム」あたりまで設置されています。鍋島直正公を中心とした11人の像の粘土原型を、本学部の徳安和博教授が制作されました。私は彫塑教室の学生と共に石膏の型取りなどの制作補助を行いました。メ切に追われる作業の連続でしたが、学生たちの頑張りがあって、最後までやり遂げることができました。

維新博プレイベントでは、「未来を照らす灯り」をテーマにランタン制作ワークショップの運営を行いました。ランタンアーティストの三上直輝さんの指導のもと、ラ

ンタン制作技法を学生と共に学び、その技法を子どもたちのワークショップ向けにアレンジしたキットを作成しました。ワークショップ当日は、学生が講師役として会の進行を行い、一会場50名ほどの子どもたちにランタンを制作してもらいました。このプレイベントワークショップを踏まえ、本年度は芸術地域デザイン学部3年生が「地域創生フィールドワーク」という授業の中で、維新博のイベントに関わっていきます。

肥前さが幕末維新博覧会は2019年1月14日(月・祝)まで開催されています。また佐賀大学美術館では「佐賀藩10代藩主鍋島直正展」が2019年1月18日(金)から開催される予定です。ぜひお越しください。



## 同窓会NOW

楠葉同窓会（文理・経済）

## 佐賀大学に就職して、早くも15年・・・

佐賀大学財務部財務課 坂口 暁哲（経済・H14年卒）

同級生が佐賀大学を4年間で卒業していく中、私はさらに1年かけて佐賀大学を卒業しました。大学生活を一言で語るとすれば、4年間はサークル活動に熱中し、5年目に大学での勉強に本気で励んだということになります。

大学卒業後、民間企業に就職しましたが、就職活動の時に考えていた仕事内容と実際の仕事内容とのギャップから、短い期間で最初に就いた仕事を辞めることを決断しました。今考えても、この時の決断が良かったのか、悪かったのか、私自身にもわかりませんが、佐賀大学へ就職する転機だったことは間違いありません。

民間企業を離職後、学生時代の成績が良くなかった私ですが、運も味方してくれたこともあり、国家公務員試験に合格後、平成15年10月1日に母校である佐賀大学にお世話になることになりました。平成15年10月1日といえば、旧佐賀大学と旧佐賀医科大学が統合した時で、半年後に国立大学法人化を控えていたこともあり、大学全体が非常に忙しく、バタバタしている感じがありました。そのような中、大学職員としての仕事のノウハウ等を指導していただいた方々には、今も感謝しても感謝しきれません。

平成30年度に入り、私が佐賀大学に就職して、早くも

15年が経過しようとしています。同窓会の諸先輩方の人生経験からすれば、15年という経験はまだまだ半人前かもしれませんが、当然私も新人ではなく、新人を指導しなければならない立場となりました。

現在、財務部財務課で決算業務を担当しており、主な業務内容は財務諸表等の作成です。国立大学法人の会計基準は民間企業の会計基準を基本としながらも、民間企業にはない特殊な会計処理を行わなければならない点などがあり、非常に苦労させられることもあります。特に、4月下旬から6月にかけては、短い期間の中で相当量の業務があり、これをいかに正確に処理していくかが非常に重要となります。当然ですが、決算業務は決算担当者だけでなく、学内の全教職員の協力が必要とされる全学的な業務でもあります。したがって、毎年苦労することも多いのですが、財務諸表が完成した時の達成感は何とも言えないものがあります。

最後になりますが、佐賀大学がさらに発展していくためには、これからも同窓会の協力は必要不可欠であると考えております。卒業生、同窓会の一員として、佐賀大学及び同窓会のためにできることを全力で取り組んでいきたいと思っております。



同窓会NOW

佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会

ゲノム情報に基づく疾病予測と個別化予防を目指して

医学部社会医学講座予防医学分野 准教授 原 めぐみ (医学・H8年卒)



社会医学講座は佐賀医科大学地域保健科学講座を前身とし、平成15年に佐賀大学との統合で改編されました。私が所属しております予防医学分野では、従来の古典的な疫学研究の手法にゲノム情報を加えた分子疫学研究を展開しています。ゲノムの分野では2003年のヒトゲノム計画完了以降、情報の蓄積とそれらの大量のデータ解析技術の開発が進み、疾病の感受性遺伝子多型などが明らかになってきました。分子疫学の分野では、疾病の発生に関わる要因について、遺伝的要因だけでなく、生活習慣を含む環境要因との両方から探り、一人一人の体質に応じた予防法の確立を目指しています。

当教室では、現在全国の大学や研究機関と共同で

10万人の研究協力者からなるゲノムコホート (J-MICC Study) に参画し、佐賀市民の皆様約12,000人にも調査に協力いただいております。同窓会会員の皆様にも多数ご協力いただいたのではないのでしょうか。皆様のご厚意に感謝しながら、期待に応えられるような研究を進めていきたいと思っています。

本研究は2005年から開始され20年間の追跡と、その後10年間はデータを保存し解析を続けることになっております。現在までに、すでに多数の知見が得られており、その概要はホームページで公開していますので、ぜひご覧になっていただければ幸いです (<http://www.jmicc.com/plus/>)。

同窓会NOW

菱実会 (理工学部同窓会)

菱実会 第20回 総会・記念講演・懇親会のご案内

日時 平成30年9月1日(土) 受付 14:30

場所 佐嘉神社記念館 〒840-0831 佐賀市松原2丁目10-43 ☎0952(24)4122

日 程

- ① 佐賀大学見学ツアー 12:30~14:30 (佐賀大学正面玄関の石碑前集合)
- ② 総 会 15:30~16:10
- ③ 記念講演 16:30~17:40

演題：佐賀大学が育んでくれた海洋温度差発電に学ぶ ～福の神は鬼の面を付けてやって来た～

講師：池上 康之 教授

佐賀大学理工学部生産機械工学科卒業、同大学大学院理工学研究生産機械工学専攻修士課程修了。米国デューク大学訪問研究員、佐賀大学海洋エネルギー研究センター教授などを経て現職。海水の温度差を利用した発電方法を長年研究し、沖縄県久米島での実証プラントを支援。2013年3月に運転を開始した。



- ④ 懇 親 会 18:00~20:00 ■会費 3,000円 (当日徴収)

アトラクション YOSAKOI「佐賀大学 嵐舞」／ビンゴゲーム

◎ご出席の際は、氏名、学科、入学年度を同窓会事務局までお知らせください。

TEL : 0952-23-1253 FAX : 0952-25-5700 E-mail : dousoukai@sadai.jp

同窓会NOW

農学部同窓会

同窓会組織の本領発揮について自問しながら

佐賀大学農学部同窓会 会長 小池 良美 (農学・S56年卒)



会員の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

先般、5月の農学部同窓会・通常総会で会長に選任いただきました小池です。全学同窓会では、川副新会長のもと、微力ながら副会長の1人として務めさせていただきます。

同窓会活動への関わりは、まだまだ浅いものですが、いくつかの県外の支部行事に参加させていただいた折、そこでは単に同窓の先輩・後輩というだけでなく、出身学部を超えた何かしら深い付き合いをされている羨ましい様子も窺えたところ。こういった活気ある集いへの参加に際して、佐賀の様子、母校の動き等々、地元からの情報発信の大事さも感じ

たところ です。

県内にあっては、同窓会活動は学部によってそれぞれのいい伝統、持ち味があります。それを参考にしながら、活動を停滞させないようにアイデアを出し合い、県外の同窓会組織とも連携を密にし、旗振り役の務めを果たしていければと思っております。

また、大学との意見交換を通じて、将来に向けた様々な大学改革の動向について認識することや、後輩学生に対する就職支援の活動に取り組み、大学が掲げている「面倒見の良い大学」「地元就職率の向上」を後押ししていくことに同窓会の組織力を発揮できるよう役員・事務局一同、努めたいと存じます。

平成29年度佐賀大学同窓会長賞表彰受賞者



平成29年度佐賀大学学位記授与式で個人・団体代表者に、同窓会長から表彰状及び副賞を授与しました



佐賀大学同窓会長賞表彰規程 (抜粋)

(平成27年12月10日制定)

- 第2条 佐賀大学の学生及び学生団体 (同窓会会費を納入した者) を対象に、社会活動、課外活動、学術研究活動において、地域貢献が顕著であると認められた場合に授与する
- 第5条 同窓会長賞の授与は、原則として毎年各学部1名又は1団体とし、表彰状及び副賞を学位記授与式において授与する

学部・研究科	氏名 (団体名・代表者氏名)	表彰理由
教育学部	さが♥わーるどりんぐ 代表 坂井 秀輔	国籍や民族の違う子どもたちと交流の場を提供し、日本の学校で安心して過ごせるように、そして自分の国に誇りを持てるようにとの願いを込めた活動を行っている団体である。地域の教育と振興に大きく貢献している。
経済学部	こだま よりこ 児玉 頼子	ゼミ活動を拠点に、学外の複数の企業・自治体・団体などと連携して、イベントなどの企画・運営、それに伴う調査・研究でリーダーシップを発揮し、事業を成功に導き、地域の活性化に大きく貢献した。
理工学部	平瀬研究室大牟田 プロジェクトチーム 代表者 池尻 真人	空き家の増加する福岡県大牟田市企画による「大牟田市民間空き家利活用・改修コンペ」において優秀賞を受賞し、空き家から生まれる新しいコミュニティとして、全国的に空き家の増加する他地域においても利活用可能なアイデアとしても高く評価され、社会活動において大きく貢献した。
農学部	まつだ ひろき 松田 浩輝	自然保護関連の多数のイベントや調査研究に携わり、天然記念物ヤマネの分布状況の解明やムササビの佐賀県内における生体初確認など、生物多様性の解明および地域環境保全に多大の貢献をした。これらの普及・研究活動は学会発表を行っている。

※ 今年度医学部の該当者なし

# お知らせ

佐賀大学同窓会 会報発行部会

## 会報の郵送は年1回7月のみ、やむなし 1月は同窓会ホームページでの閲覧を

このたび、本誌、会報「楠の葉」第29号を滞りなく会員の皆様にお届けすることができ、会報発行部会の編集委員一同、ひと安心です。

また、発行のたびに「楽しみに待っていただいているだろうか」「読みごたえはどうか」など、気になるところです。

さて、会報発行についての重要なお知らせです。

会報は年2回、7月と1月に定期発行し、近年では15,000人近い会員に郵送いたしております。

「会報」は、その時々の同窓会の組織、事業活動および大学の様子など、会員の皆様に知っていただくための、いちばん身近なものとして位置づけており、厳しい運営財源の中でも、年2回の送付を続けてまいりました。ここ数年来、同窓会全体の予算編成の中で、かなりのウエイトを占める会報経費の削減については、年1回の発行も視野に検討してきたところ

ですが、会報の重要性から、踏み切れずにいたというのが実情です。

しかしながら、平成30年度から郵送料が大幅に値上げされ、さらなる負担が増加することから、これを機に、年2回の発行は継続するものの、会員の皆様への郵送は7月のみとすることを、やむなく決定しました。

当面、1月については、これまでの会報と同じようなページ組みで編集作成し、同窓会ホームページに掲載して、閲覧いただくことといたします。

印刷と郵送を取り止めるものですので、ホームページからプリントアウトして、これまでと変わらず、手に取って読んでいただくこともできます。

諸事情ご賢察のうえ、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 同窓会ホームページのリニューアル



各同窓会について

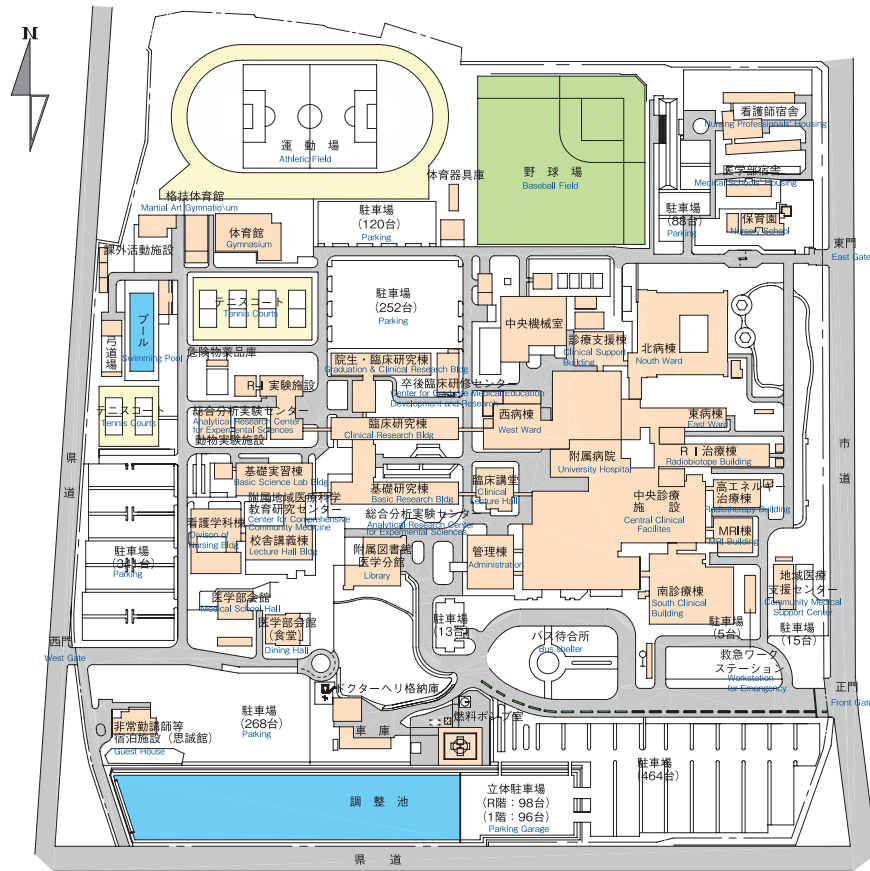


同窓会ホームページのサイトリニューアルを実施しました。

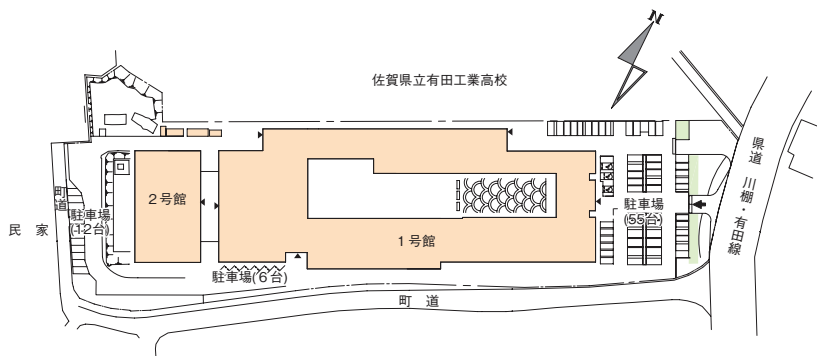
是非、リニューアルした佐賀大学同窓会、有朋会、楠葉同窓会、佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会、養実会、農学部同窓会のホームページをご覧ください。

# キャンパスマップ Campus Map

鍋島キャンパス 〒849-8501 佐賀市鍋島5-1-1 Tel. 0952-31-6511 (代表)  
Nabeshima Campus



有田キャンパス 〒844-0013 佐賀県西松浦郡有田町大野乙2441-1 Tel. 0955-29-8888  
Arita Campus FAX. 0955-43-3033



## 会費納入のお願い

佐賀大学同窓会は、同窓会会報「楠の葉」の発行、学生の就職支援、支部会・地区会活動への支援、大学祭の支援、佐賀大学校友会の支援など多くの事業を行っています。それらの活動は、皆様方が納めていただく会費によって運営されています。

会費納入をぜひよろしくお願いいたします。お知り合いの方にもお声かけをお願いします。

## 恩 師 情 報 ……この一年

### 定年退職 (平成30年3月)

近藤 則之	教育学部教授	前田 定廣	大学院工学系研究科教授
富田 義典	芸術地域デザイン学部教授	白武 義治	農学部教授
藤戸 博	医学部附属病院薬学部教授	佐藤 三郎	リージョナル・イノベーションセンター教授
城 圭一郎	医学部医学科分子生命科学講座准教授	荒木 宏之	低平地沿岸海域研究センター教授
米山 博志	大学院工学系研究科教授	滝澤 登	大学院工学系研究科教授
大和 武彦	大学院工学系研究科教授		

### 訃 報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

森 田 讓	名誉教授 (文化教育学部)	平成29年5月12日
飯 盛 信男	名誉教授 (経済学部)	平成29年5月17日
上 原 春男	名誉教授 (佐賀大学・学長)	平成29年8月11日
前 間 良爾	名誉教授 (文化教育学部)	平成29年9月9日
村 田 晃	名誉教授 (農学部)	平成29年9月24日
林 重 徳	名誉教授 (低平地研究センター)	平成29年10月18日

## 佐賀大学ホームカミングデーの開催

【期 日】平成30年11月17日(土) 14:00～

【場 所】佐賀大学本庄キャンパス 経済学部4号館及び美術館

【目 的】佐賀大学の卒業生に母校を訪問してもらい、母校の現状を知り、恩師、学友との再会と交流を深め、今後の母校への御理解と御支援をいただければ幸いです。

【対 象】卒業年等にかかわらず、すべての同窓生と本学の名誉教授

【内 容】大学の近況報告、講演、美術館見学、懇親会等  
(懇親会に御参加の場合、参加費が2,000円必要です。)

※詳しくは、佐賀大学校友会のホームページ (URL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>) の「お知らせ」を御覧ください。

### 【申し込み・連絡先】

校友会事務局

Email: [kouyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp](mailto:kouyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp)

電 話 : 0952-28-8154

## 「第26回佐賀県青春寮歌祭」参加のご案内

- ・日 時 平成30年11月24日(土) 13時00分～17時30分 (入場無料)
- ・会 場 佐賀市白山2-7-1 佐賀市交流センター「エスプラッツホール3F」  
佐賀駅より1200m TEL0952-40-0560

例年、佐賀大学も含め30校くらいの参加があります。  
奮ってご参加ください。同窓会事務局までご連絡をください。

### 同窓会の動き (H30.1～H30.12)

1.1 佐賀大学同窓会会報「楠の葉」第28号発行	(今後の予定)
3.23 佐賀大学学位記授与式「佐賀大学同窓会長賞」の授与	10.11 佐賀大学同窓会「第3回代表役員会」/菱の実会館
4.12 佐賀大学同窓会「第1回代表役員会」/菱の実会館	10.18 佐賀大学同窓会「秋期定例役員会」/菱の実会館
4.19 佐賀大学同窓会「春期定例役員会」/菱の実会館	11.17 佐賀大学ホームカミングデー /佐賀大学本庄キャンパス
5.17 佐賀大学と佐賀大学同窓会との意見交換会 /菱の実会館	11.24 第26回佐賀県青春寮歌祭/エスプラッツホール
6.14 佐賀大学同窓会「第2回代表役員会」/菱の実会館	12.13 佐賀大学同窓会「第4回代表役員会」/菱の実会館
7.1 佐賀大学同窓会会報「楠の葉」第29号発行	

ご意見  
メール  
等募集

会報についてのご意見をお寄せいただく場合は、郵送のほか電話またはE-mailでも受け付けております。

名前・住所変更等  
ご連絡の  
お願い

名前・住所等が変更になられた場合は、必ず同窓会事務局へご連絡ください。E-mail: [dousoukai@sadai.jp](mailto:dousoukai@sadai.jp)  
Tel: 0952-23-1253 Fax: 0952-25-5700